

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すまいる&すまいる天童		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 6 月 1 日 ~ 令和 8 年 6 月 12 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	令和 8 年 6 月 1 日 ~ 令和 8 年 6 月 12 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8 年 6 月 13 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団、個別での療育。一人ひとりの個性や特性を生かし、様々な支援を通して発達・成長を助長する支援を行っている。	お子さんの状況を把握し、職員の配置を多く行っている。一人ひとりに応じた支援内容、実施を行っている。	楽しい支援になるように、工夫やアイデアを出し合い職員同士が共有し努力する。それぞれの専門性をさらに高めるために、積極的に研修や学習会などに参加するよう努める。
2	一軒家を利用した家庭的な雰囲気や環境の中で、お子さんがのびのびと過ごすことができる。	一般的な住宅を利用しているため、狭いと感じるが、十分に体を動かし楽しめる活動を取り入れている。四季折々の活動を取り入れている。	利用者一人ひとりのニーズに対応しながら、創意工夫した活動内容にしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	発語が上手くできないお子さんに対して、質の高い療育の提供が十分でない。	発語に関する専門知識を有した職員が在籍していない。学びや経験の機会が少ない。	研修など様々な障がいについて学ぶ機会を増やし、職員のスキルアップを図る。
2	子育て支援、家族支援や保護者への情報発信が少ない。	家族に対して子育てに関する助言や研修を行う機会等を設けていない。	家族に対して家族支援プログラムや研修の機会を提供する。
3	地域でのイベントや他施設との関わりが出来ていない。	開所してまだ半年のためイベント等を考えていない。	今後、必要に応じて、どのような形であればイベント等の開催が可能かを検討し、関わりを持てる機会を作って行きたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すまいる&すまいる天童

公表日 令和8年7月19日

利用児童数 3名

回収数 2名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1		1		体を動かして遊ぶにはやや狭いかと感じていますが、外遊び等を取り入れていただいております。	ありがとうございます。活動スペースについては、法令で定められた基準を満たしておりますが、運動遊びの内容によっては狭さを感じられる場合もあるかと思えます。限られたスペースの中でも活動内容を工夫し、外遊びや地域資源を活用しながら、子どもたちが十分に身体を動かせる機会を確保してまいります。今後も安全で充実した活動環境をつくりに努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	1			段差、階段の部分は構造上どうしてもないと思いますが心配しています。	当事業所は一戸建て住宅を活用しているため、構造上、段差や階段がある箇所がございます。安全面についてご心配をおかけしております。段差や階段については住宅構造上なくすることが難しい部分もありますが、お子さまが安全に過ごせるよう職員の見守りや環境整備を行っております。今後も安全面への配慮を継続し、安心して利用していただける事業所づくりに努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1		1		アセスメント結果等をフィードバックしてまいります。（どのような分析方法をとっているか等）	貴重なご意見ありがとうございます。お子さまの特性や強み、支援上の配慮事項について日々の様子を丁寧に観察しながら情報収集を行っております。今後、一定期間の支援経過を踏まえ、個別支援の見直しやモニタリング等の機会を通して、お子さまの成長の様子や課題、支援の考え方について分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1		1		内容について把握していません。	支援プログラムについて十分な周知ができていなかったと受け止めております。今後は、事業所で行っている支援内容とあわせて分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1		1		本人の理解について一か月程度通所してから見えてくるのではないかと考えておりました。	お子さまの理解は利用開始時のアセスメントだけでなく、継続的な関わりの中で深まるものと考えております。今後もお子さまの様子を丁寧に把握しながら、必要に応じて個別支援計画の直しを行い、より適切な支援につなげてまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1		1		未満時、幼児の児童発達支援事業所対象者にも機会があるのでしょうか。	地域の子育てサロンや地域の居場所づくり活動への参加を通して、未就学児を含む地域の子どもたちとの交流機会を設けられるよう検討しております。今後も地域とのつながりを大切にしながら、子どもたちが様々な人と関わる機会を増やしていきたいと考えております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1			1	家族向けの情報提供の機会等あれば教えていただきたいです。	研修会等の情報提供は、必要に応じてご案内してまいります。よろしくお願いいたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	1	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1		1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1			1	まだやりとりをそこまでしていません。	お子さまやご家族との関わりを大切にしながら、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			1	マニュアルの内容について及び訓練をしているか等把握していません。	各種マニュアルを整備し、職員への周知を行っています。また、避難訓練や防犯訓練も定期的に計画し実施しております。保護者の皆様にも分かりやすくお伝えできるよう、周知方法を工夫してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			1	訓練をしているか分かりません。	非常災害の発生に備え、避難訓練等を定期的に計画し実施してまいります。今後は訓練の実施状況についても、保護者の皆様へ分かりやすくお伝えしてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1			1	計画内容が分かりません。	安全計画は作成しておりますが、保護者の皆様への周知が十分ではありませんでした。今後は計画内容や安全確保の取り組みについて、お伝えできるよう努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1			1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1			1	楽しくは通えておりありがたいと思っています。本人の苦手な部分が社会適用できるよう伸びていくと良いなと思っています。	ありがとうございます。成長をしっかり把握しながら、今後も皆様にご満足いただける支援をご提供できればと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年7月19日				
すまいる&すまいる天童						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		10名定員に見合った広さを確保している。	今後利用児童が増えた時は支援室が3か所あるため工夫していきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		法令で必要とされる配置を確保している。	子どもの発達状況や支援内容を定期的に見直し、一人ひとりに必要な支援体制を検討します。必要以上に職員が固定して対応することのないよう支援方法を工夫し、職員配置に余裕を持たせながら、安全に支援できる体制づくりに努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		玄関先が階段のため声掛けを行いながら昇り降りをしている。	・段差の前に大人が立ち、危険を知らせるための声掛けや大人がそこに立つことで、危険を認識させる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・掃除、消毒、安全点検を行っている。 ・活動内容によってはパーテーションで仕切るなどの工夫をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		他の支援室を利用するなど必要に応じて、個別の部屋で過ごせるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		毎朝のミーティングや定期的なミーティングで、日々の支援について職員が話し合う機会を設けている。	その日の活動内容の振り返り等を行い、子どもの様子を共有し次回の課題設定を行う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・開所後初の評価。 ・開所して半年のため今後更なる業務改善に努めていきたい。 ・保護者向け評価の集計結果を職員間で共有し、話し合う機会を設けている。	開所後、初めての評価となるため、その結果を真摯に受け止め改善していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日々の活動後やミーティングなどで意見交換を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		第三者による外部評価未実施。 第三者からの客観的な評価や意見を取り入れる機会を設け、業務改善に継続的に取り組みます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		内部・外部問わず様々な研修に参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		アセスメント、モニタリングを行いプラン案会議を経て個別支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		プラン案会議を開催し、支援に関わる職員が個別支援計画案についての検討を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		作成された個別支援計画は、支援に関わる全職員に回覧し共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		日々の行動観察を通して気づいたことは、支援記録やケース記録に記載するとともに職員間で共有し、計画や支援に役立てている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		一人ひとりの成長発達に合わせ、それぞれが楽しめるプログラムを工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		打ち合わせをした内容を日次記録ノートに記録し、打ち合わせに参加できなかった職員とも共有している。	長期休暇中時など児童の来所時間が早いと十分な打ち合わせ時間が取れない時がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		毎日の振り返りで共有している。休みだった職員には日次記録ノートやミーティング等で周知し共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じて関係機関と連絡を取り合っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。	4	3		今後、助言を設ける機会を設定していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	散歩や公園、公共施設等であいさつをしたり一緒に遊んだりすることがある。	地域の保育所等との交流の機会を設けていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		家族を対象とした家族支援プログラムや研修の機会を提供していない。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		きょうだい同士での交流機会や保護者会は設けていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報に関するものは、鍵付き棚を設置し管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		・地域住民を招待する機会がない。 ・開所してまだ半年のためイベントは実施できない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			策定しているマニュアル等はあるが、家族への周知や訓練など不十分な点もある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			継続的な研修や訓練をし緊急時に備える。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		アセスメントまたは契約時に再確認を行い、個人配慮シートへ記入してもらい既往症の確認を実施している。	看護師がいなため、十分に配慮して支援を提供していく必要がある。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		医師の指示所ではないが、保護者からの申告により適切な対応を取っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			